

県内の患者数

	今週	前週		今週	前週
インフルエンザ	↓ 1	4	百日咳	→ 0	0
RSウイルス感染症	↓ 0	1	ヘルパンギーナ	↑ 133	128
咽頭結膜熱	↓ 12	14	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↓ 3	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓ 50	77	急性出血性結膜炎	→ 0	0
感染性胃腸炎	↓ 203	221	流行性角結膜炎(はやり目)	↓ 12	13
水痘	↓ 37	71	細菌性髄膜炎	↓ 0	1
手足口病	↓ 124	136	無菌性髄膜炎	↑ 2	1
伝染性紅斑(りんご病)	→ 0	0	マイコプラズマ肺炎	→ 0	0
突発性発しん	↓ 52	57	クラミジア肺炎	→ 0	0
			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	→ 0	0

報告が多い感染症

- 感染性胃腸炎
- ヘルパンギーナ
- 手足口病

大きな流行が発生又は継続しつつある地域

ヘルパンギーナ : 菊池、宇城

手足口病 : 有明

◆◆◆保健所別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

保健所名	インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	
熊本市保健所	1		3	18	31	3	35		15		34	3		11		2				
山鹿保健所				4	7	3	3		3		3		*	*						
菊池保健所			6	12	55	8	17		8		51									
阿蘇保健所				1	1		1						*	*						
御船保健所					1	1							*	*						
八代保健所			1	4	12	1	10		6		8									
水俣保健所				1	3	1			1		1		*	*						
人吉保健所			1	3	15	5	2		4		9		*	*						
有明保健所				2	55	9	31		9		7			1						
宇城保健所			1	3	21	6	6		3		12		*	*						
天草保健所				2	2		19		3		8									
計	1		12	50	203	37	124		52	0	133	3	0	12	0	2	0	0	0	0

◆◆◆年齢別発生状況(インフルエンザ・小児科・眼科・基幹定点)◆◆◆

インフルエンザ定点	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80歳以上	
インフルエンザ	1																					
小児科定点年齢	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20歳以上							
RSウイルス感染症	0																					
咽頭結膜熱	12		2	2	5	2	1															
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	50	1			1	6	10	6	9	2	3	2	7		3							
感染性胃腸炎	203	5	18	38	34	17	15	14	12	6	10	7	15	1	11							
水痘	37	1	2	7	6	6	8	2		2	2	1										
手足口病	124		8	37	35	19	8	9	4	1	1		2									
伝染性紅斑	0																					
突発性発しん	52	2	22	24	4																	
百日咳	0																					
ヘルパンギーナ	133		11	43	29	18	15	7	5	2	1	1	1									
流行性耳下腺炎	3					2				1												
眼科定点年齢区分	合計	0~5カ月	6~11カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70歳以上		
急性出血性結膜炎	0																					
流行性角結膜炎	12				1								1	1	3	2	1			1		2
基幹定点年齢区分	合計	0歳	1~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70歳以上					
細菌性髄膜炎	0																					
無菌性髄膜炎	2			1		1																
マイコプラズマ肺炎	0																					
クラミジア肺炎	0																					
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0																					

ヘルパンギーナ、手足口病に注意しましょう

ヘルパンギーナや手足口病は主にお子さんがかかることが多い、夏に流行しやすい感染症です。

先週から引き続き、ヘルパンギーナは菊池地域と宇城地域、手足口病は有明地域が警報レベルとなっています。

ヘルパンギーナは喉の強い痛みと発熱が特徴であり、手足口病は手のひらや足の裏、口の中などに発疹がでて、発熱は軽度のことが多い病気です。どちらの病気もほとんどの場合は自然に治りますので、治療としては発熱などへの対症療法になります。



感染経路

- ・飛沫感染(咳やくしゃみ、つばなどのしぶきに含まれるウイルスによって感染すること)
- ・経口・接触感染(便に排出されたウイルスが手を介し、口や眼などの粘膜に入って感染すること)

予防のポイント

- ・予防接種はありません。
- ・外から帰った後、食事の前、トイレの後やおむつ交換の後などに手洗いをしっかりと行いましょう。
- ・幼稚園、保育園や学校などの集団生活ではタオルを共用することは避けましょう。



KKT 医療ナビ! Dr. テレビたん

<http://www.dr-tvtan.jp/>

情報提供：熊本県健康福祉部 健康危機管理課